

血の池地獄こども「色」博物館 & 血の池地獄ワークショップ

血の池地獄こども「色」博物館

場 所 血の池地獄本館 入り口正面 展示コーナー

会 期 2024年1月21日から2月29日

血の池地獄ワークショップ

講 師 木村典之

研究会 照山龍治、幸野洋子、山崎朱実、塩月孝子

日 時 2024年1月21日(日曜日)

10時から12時まで

開催概要

血の池地獄こども「色」博物館

別府市立鶴見小学校の二年生全員が、「ふるさと学習」の中で、血の池地獄の赤い泥からチョークを作り、別府ならではの「竹」で竹炭鉛筆も作りました。

そして、その「赤いチョーク」と「竹炭鉛筆」を使って、二年生全員で「ふるさとのたからもの」、「じぶんのたからもの」を描きました。

その子どもたちの努力を国内外の方にご覧いただき、励ましのメッセージをもらえればと考え、血の池地獄「こども色博物館」を設置し、作品を展示、研究会のこれまでの活動についても紹介しています。

下の写真は、展示の様子です

こども色博物館の会期は、1月21日(日)から2月末までを予定しております。



血の池地獄ワークショップ

また、開館日には、血の池地獄の赤い泥やその赤い泥で作ったチョークやクレヨン、竹炭鉛筆などを使って、国内外の皆さん方にも「ふるさとのたからもの」や「じぶんのたからもの」を描いてもらいました。

下の写真は、台湾から来られた方々です。真ん中の女性が、とてもうまく今年の干支「龍」を書いてくれました。



お茶の水大学教授の宮里暁美先生御一行とふたばこども園吉田茂園長御一行視察

また、当日、私ども研究会の実践園、ふたばこども園（大分市）の吉田園長が、講師として来県されたお茶の水大学教授の宮里暁美先生を連れてこられました。

そのため、照山が研究会の活動と血の池地獄こども色博物館について紹介し、木村が指導し、血の池地獄の赤い泥で絵を描くワークショップを行いました。

下の写真は、宮里暁美先生御一行がワークショップをしている様子です。



血の池地獄ワークショップには、その他多くの国外からの観光客の方々が参加してくれました。



こども「色」博物館の閉館後、管理運営にご協力いただいた血の池地獄の職員の皆さんと一緒に写真を撮りました。

会期(2024年1月21日から2月29日)中は、こども「色」博物館ポストイットコーナーをはじめ、博物館の管理全般にご協力いただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。

